

健康新聞

まだまだ残暑が厳しい日々
水分と適度な塩分と十分な睡眠
で熱中症予防を心がけましょう



インスリンボールって知っていますか？

【インスリンボールとは】

インスリン自己注射を続けることで皮下にできるしこり(硬結)です。同じ場所に繰り返し注射することでインスリンが蓄積したり(脂肪肥大)、インスリン由来のアミロイド(タンパク質)が蓄積したりして形成されます。しこりに打つとインスリンの吸収が極めて悪くなるため、血糖コントロールが不安定になる原因となります。



【特徴とリスク】

◆種類(感触の違い)

- ①「リポハイパートロフィー(脂肪肥大)」:皮下脂肪が増大して形成。軟らかいのが特徴です。
- ②「インスリンボール」:タンパク質の沈着により形成。非常に硬いのが特徴です。

◆痛みがない

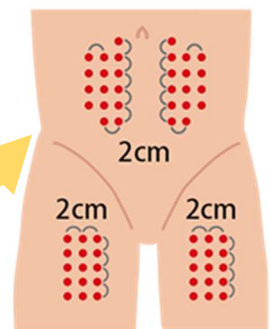
しこりができた場所は感覚が鈍くなり、注射の痛みが和らぐ傾向があります。そのため無意識にその場所を狙って打ち続け、さらに悪化してしまうという悪循環に陥りやすいです。

◆血糖コントロールの悪化

インスリンボールに注射するとインスリンが正常に吸収されないため血糖値が下がりにくくなり、結果として必要なインスリンの単位数が増加してしまいます。

【対策と注意点】

しこりを見つけた場合は、そこへの注射を避けて新しい正常な部分へ打つ必要があります。しこりは数ヶ月注射を休むと自然と消失していくことが多いです。ただし、正常な部位に注射を再開するとインスリンの吸収が劇的に改善され、これまでと同じ量でも低血糖を起こす危険があります。しこりに気づいた際は、ご自分で判断してインスリン量を変更せず、必ずかかりつけの医師や医療スタッフに相談してください。



注射ごとに2～3cmずつ、位置をずらしましょう

【病院からのお知らせ】

- ★糖尿病試食会 次回11月26日(木)12:30～13:30(要予約/参加費550円/対象者:どなたでもどうぞ)
- ★外来糖尿病教室 次回 9月24日(木)13:30～14:30(要予約/無料/当院通院中の患者さんや家族の方)

☎お問い合わせ:代0942-53-7511(栄養管理室・内科外来)

